

道徳

PADDLE

パドル

2017.7.24 ☆Vol.13

小中連携を意識した道徳授業

「小中連携」とは、小・中学校が情報交換、交流することを通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育活動のことです。

子どもたちの9年間をどのような視点から見通すのかが重要です。

視点1 子ども理解の一貫性

9年間を見通して子どもの育ちを見守るという「共通の視点」が小学校にも中学校にも必要です。ひとりの子どもについて、小・中がお互いの情報を交換し合うならば、その中で子どもに対する「理解の仕方」を共有しあうことができるようになります。

また、子どものつまずきの内容や悩み・不安・喜びを「共通した視点」で「共感的に見る」ために、次のような見方が大切です。

○広くみる

…多くの面からの情報を集める。(校内だけではなく、家庭や地域から見る)

○深くみる

…背景や現象の原因までも対象とする。(現在だけではなく、過去にさかのぼって見る)

○子どもとの距離を変えてみる

…遠くから見たり近くで見たりすることで、子どもの違った側面が見えてくる。

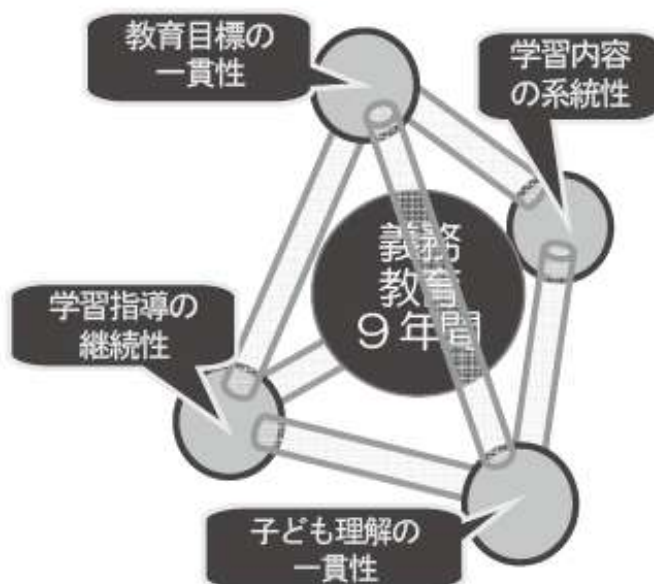
大野地区では、小中連携合同研修会などを開催し、子どもたちの理解に努めています。

視点2 教育目標の一貫性と学習目標の設定

小・中が同じ方向を向き、同じ目標(小中一貫して育てたい子どもの姿)に進むためには、小中一貫して「どのような子どもに育てたいか」という子どもの姿を設定します。

大野地区では、家庭学習強調週間を設定したり、学習規律(勉強するときのきまり)や長期休業中の過ごし方を話し合ったり、学習や生活面での一貫性を設定しています。

小中連携をすすめる上で大切にしたい4つの視点のモデル図



※4つの視点からできる辺や面などが、連携の取組になります。

※どれか一つの視点だけが大きさを変わってしまうとバランスが崩れ、中心にある義務教育9年間が安定しません。

■視点1 『子ども理解の一貫性』

小・中で共通する子ども理解をすすめます。

■視点2 『教育目標の一貫性と学習目標の設定』

小・中で一貫している「育てたい子どもの姿」を設定し、一貫性のある学習目標を設定します。

■視点3 『学習指導の継続性』

子どもの発達段階をふまえた共通認識をもって学習指導にあたります。

■視点4 『学習内容の系統性』

学習内容のつながりを把握しておきます。

視点3 学習指導の継続性

9年間を見通して「具体」と「理論」の指導をくりかえしながら、「つながり」と「バランス」をとることで、発達段階をふまえた学習を行うことができます。

大野地区では、発達段階をより一層共通認識するために、小中の教員が互いに授業を参観したり、出前授業を行ったりしています。

視点4 学習内容の系統性

子どもたちが現在の学習内容に至るまでにはどのような学習をしてきたのか、また、現在の学習内容の後にどのような学習をしていくのかを把握し、学習内容のつながりを把握します。

大野地区では、新しい単元に入るとき、小学校の復習をしたり、レディネステスト(復習テスト)を行ったり、小学校の行事や体験を想起させたりして、学習がスムーズにつながるよう工夫しています。

○小中連携を意識した道徳授業

7月20日(木)『四十七年に感謝して』 価値項目：愛校心

ねらい：学級・学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

価値に向かわせるために、自分の出身小学校と大野中学校のそれぞれのいいところを考えさせ、価値を《補充》させる場面を設置しました。

【大野小学校】

- ・○○ 校舎がきれい
- ・○○ 中休みがある、私服がいい
- ・○○ 玄関ホールが広い 階段、廊下も広い
- ・○ たくさん行事がある
- ・○ 大きな木がある、クラス行事が楽しい
- ・○○ ギャラリーがある、遠足がある
- ・○○ ケヤキの木がある、授業が短い
- ・○ 中休み、昼休みがある
- ・○○ 桜並木がある、廊下に暖房
- ・○○ 鉛筆を使うとこ、ホールが大きい
- ・○○ 挨拶一番の学校を目指している、ふれあいフェスティバルがある
- ・○○ 多目的ホール、保健室前の紙、音楽室がいい
- ・○○ 大きな木が庭にある、挨拶が一番！
- ・○○○ とてもきれいな学校、大きいし、広い
- ・○○○ 図書館が大きい、中休みがある
- ・○○ プール学習、大きな木がある

【萩野小学校】

- ・○○ 稲刈り、プール、萩野ファイターズ
- ・○○ 1人1人の名前が覚えられる、ホールで遊べる
- ・○○ 個性的な人が多い、みんな知り合い
- ・○○ カラフルな校舎、プールがある
- ・○ 体育館が広い、縄跳び大会、遊具が楽しい
- (※共通して校歌がいいと言っていました)

【島川小学校】

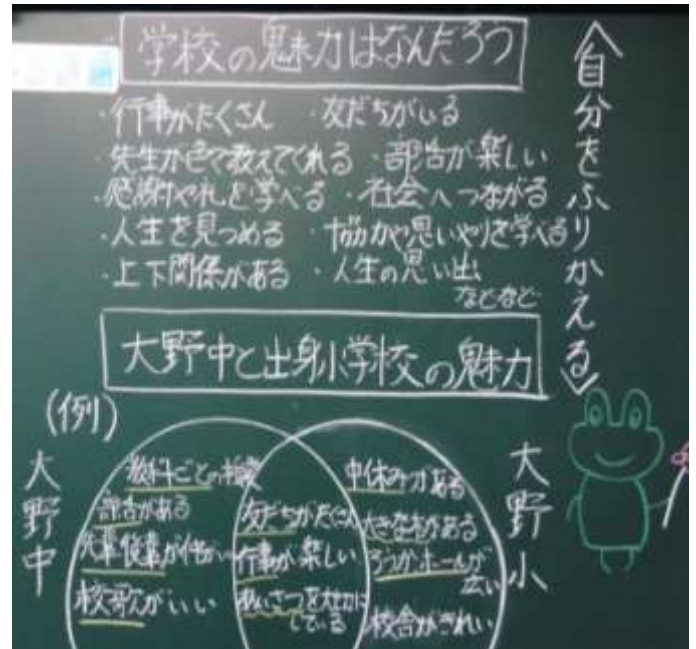
- ・○○ プールがある、餅つき集会、1~6年で遊ぶ
- ・○○ 全部のクラスと仲良し、フェスティバル

【市渡小学校】

- ・○○ 体育館が新しい、グラウンドがでかい、スキー
- ・○○ 自然が豊か、くりがある。
- ・○ 団結力がいい、縦割り班
- ・○○ 自然がいっぱい、スキー学習
- ・○○ くりの木が2本、学校が築100年以上、動物がたくさん(リス、マムシなど)

- ・こより 校庭が広い、縦割り班、みこし、鼓笛パレード

この授業をしているとき、とにかく笑顔だったこと。みんな小学校を振り返って思い出し、幸せそうな顔になっていました。まさしく心をふるわせた(学級目標の『はーとふる』)ひと時でしたね。



小中を想起させたり、比較したりして学習を深めました。【主に視点4 学習内容の系統性を意識】

- 出身小学校と大野中学校の共通点も交流しました
- ・行事が楽しい
- ・校歌が素敵
- ・挨拶を大切にしている
- ・仲良し
- ・家庭学習を頑張っている
- ・先生がやさしい
- ・小中で仲がいい
- ・大野が好きな人がたくさん